

華乃会 会員様限定催事のご案内
 前端春齋講演会・一門作品展

8/24金 25土 26日

彩漆体験教室

呈茶席あり
 9:00am ~ 5:00pm

彩漆体験教室は人数に限りがございますので(15名程度) 予約制とさせていただきます



(題字・三輪休和)

106号

2018年8月発行

水	1	先勝
木	2	友引
金	3	先負
土	4	仏滅
日	5	大安 休日営業16時まで
月	6	赤口
火	7	先勝・立秋
水	8	友引
木	9	先負
金	10	仏滅
土	11	先勝・山の日 夏季休暇
日	12	友引
月	13	先負
火	14	仏滅
水	15	大安
木	16	赤口
金	17	先勝
土	18	友引
日	19	先負 定休日
月	20	仏滅
火	21	大安
水	22	赤口
木	23	先勝・処暑
金	24	友引 華乃会 前端春齋講演会
土	25	先負 華乃会 前端春齋講演会
日	26	仏滅 華乃会 前端春齋講演会
月	27	大安
火	28	赤口
水	29	先勝
木	30	友引
金	31	先負



散楽蒔絵平棗



秋草蒔絵茶器



彩漆草花一閑大棗



陶漆岩礁に千鳥茶碗



陶漆秋草茶碗



陶漆朱塗唐子宝尽茶碗

吉野川彩漆蒔絵大棗 坐忘齋箱



家業の漆工に就いて四十一年間、失われつつある古典の業をテーマに私なりに模索してまいりました。白檀塗の調和、新作吉野川彩漆蒔絵大棗では、他にも前線一門作品が完成しました。皆様のご高覧を仰ぎ、ご指導賜りますれば幸いです。 三代前線春齋 無限庵

前端春齋さんが理事長の【山中温泉 無限庵】のご紹介です 書院主室御殿

無限庵は金沢より移築した建物である。それは元家老横山家の分家横山章(横山家13代隆平の弟隆興の子)が、金沢市内高岡町にあった邸内に建てた書院であった。子息の婚儀に際し設けたものと伝えられ、当時から「新御殿」と呼ばれていたという。明治末期の建築といわれ、この地方における当時の木造技術の粋を傾けた最高級の普請であったと今も関係者の間では、語り伝えられている。その華麗な遺構は横山家の盛時を偲ばせる。成巽閣(重文・金沢)に見るような武家邸宅書院の伝統を継承する近代の書院造として貴重な遺構です。

青壁の廊下 -無限庵HPより-

前端春齋が選ぶ逸品 重要文化財「春日山蒔絵硯箱」 室町時代 根津美術館蔵

足利義政遺愛の硯箱のひとつとして名高い作品である。被蓋造(かぶせぶたづく)の硯箱を梨子地とし、蓋表に女郎花や桔梗、薄、サルトリイバラが生い茂り、三頭の鹿が佇む秋の野が満月に皓々と照らし出されている様を金研出(きんとぎだし)蒔絵と高蒔絵とであらわしている。蓋裏には山中の茅屋(ぼうおく)で鹿の声を傾けているかのような男が描かれている。文様の中に「盤(は)」「こ・と・尔(に)」「け」「連(れ)」の文字が葦手(あしで)の手法であらわされ、『古今和歌集』巻4、壬生忠岑(みぶのただみね)の歌「山里は秋こそことにわひしけれ 鹿の鳴く音に目をさまし つつ」を暗示している。高度な文学的趣向を凝らした作品である。

重文 春日山蒔絵硯箱にみられる五つの蒔絵技法

蒔絵は漆の強い接着力を活かした技法。漆で描いた部分が固まらないうちに、金粉などを蒔いて固着させ、絵を表す。多様な技が生み出され、日本で独自に発達してきた。

- ①梨子地 薄く延した金粉を地にまばらに蒔いた後、漆で塗り込めて仕上げる技法
- ②高蒔絵 文様部分を高く盛り上げて、立体的に見せる蒔絵技法
- ③平文ひょうもん 金属の薄板を文様に切り抜いて貼り漆で塗りこめ、研いで仕上げる技法
- ④葦手あしで 意匠の出典、和歌などを判じさせる文字を、絵の中に溶け込むように散らしたもの
- ⑤切箔 金や銀の薄板を方形、長方形、菱形などの形に小さく切ったものを蒔絵とともに用いることでアクセントにした技法

中国、朝鮮半島の漆に見られる代表的な技法には、堆朱・堆黒・存星・螺鈿がある。

硯箱 表面 硯箱 裏面

この硯箱は「山里」とも称される鴻池家の「三笠山」などと共に、足利義政公五面の硯の一つと伝えられている。

-根津美術館HPより-

華乃会お買得価格 今月の推奨商品のご紹介

原清晃 半七風万寿菊茶碗 ¥13,400→¥9,300	福本未来 仁清桔梗茶碗 ¥22,000→¥15,400	中村良二 灰釉桔梗に秋草茶碗 ¥17,500→¥12,000	山川敦司 石彩万寿菊茶碗 ¥28,000→¥19,600
--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------

..編集の窓..

秋海棠 西瓜の色に 咲きにけり 松尾芭蕉

秋海棠 photo by S,A

シユウカイドウ 秋海棠

中国原産、江戸時代初期に中国から渡来した帰化植物。中国名「秋海棠」の音読みから。バラ科の海棠のような花を秋に咲かせることからこの名がつけられたといわれる

別名 瓔珞草(ヨウラクソウ) やや下向きに咲く様子を仏像の装飾具の瓔珞にたとえたもの

ギャラリー森田ホームページ
<http://www.gallery-morita.co.jp/>
 gallery morita スタッフぶろぐ
<http://ameblo.jp/gallerymorita/>
<https://www.instagram.com/gallery.morita/>

Instagram 始めました

収穫祭り!
 中庭で育てていた トマトが赤くなりました。無農薬ですくすくと伸びすぎてしまいましたが、なんと赤くなりました。暑い日が続きますので水分をしっかりとって熱中症にお気をつけください。

■ご不要になりましたお道具 など どうぞお売り下さい。 編集プロジェクト